

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [25] 東京都台東区立まつがや高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人東京援護協会 指定期間 H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	高齢者部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、在宅介護支援センター(2)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕その他障害者部門など。
(2) 類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター5施設
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入4,288,388,535円、歳出4,216,017,082円、収支差額72,371,453円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区松が谷4-4-3
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日～3日を除く) 8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 4,671㎡のうち1,306㎡ ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造地上8階地下2階のうち2階の一部
(6) 人員体制	21名 内訳…相談員(1)、介護職員(常勤11、非常勤7)、看護職員(2)

3. 事業(サービス提供)の概要

(1) 委託事業	①通所介護サービス(送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等)、②介護予防通所介護サービス(送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等)
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	負担金	42,939,000	39,379,000	23,840,000	22,800,000	14,280,000
	料金収入等	56,844,000	69,022,000	80,025,000	79,884,000	86,973,000
	管理経費	99,783,000	108,401,000	103,865,000	102,684,000	101,253,000
決算	負担金	31,744,634	32,401,202	23,840,000	22,800,000	14,280,000
	料金収入等	62,265,498	81,063,370	86,645,509	95,745,533	91,044,310
	管理経費	96,446,661	103,585,106	99,529,206	114,545,533	102,621,667
	収支	-2,436,529	9,879,466	10,956,303	4,000,000	2,702,643

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	311	310	310	311
定員	人	35	35	35	35

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率	%	88.0	78.3	87.9	87.6
利用者数	人	9,600	8,500	9,542	9,537

7. 前年度からの取組

昨年度評価において課題となった、事故や苦情への対応の遅れについては、毎月のミーティングにおいて対応手順の共有化を行い、解消を図っている。
朝に利用者に個別アンケートを実施し、1日のプログラムや個別の活動の希望を把握し、サービスに反映させ、サービス向上に取り組んでいる。
また、効率的な経営に向け、経費削減の工夫を継続して取り組んでいった。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[3]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[3]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上） : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
A（適正） : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
B（一部課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
C（課題あり） : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
D（水準未達） : 協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	高い利用率水準を維持しており良好な事業運営が行われている。
(2) 施設の維持管理	A	開設から14年経過しており、経年劣化による修繕が発生しているが、その都度適切に対応し、良好な施設の維持管理を行っている。
(3) 利用者の満足度	S	利用者満足度調査では約90%の方が満足と回答しており、利用率も高い水準を維持している。
(4) 歳入歳出	A	指定管理料及び管理経費の削減が図れており、概ね適切な歳入歳出構造となっている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	高い利用率水準を維持し、経費削減の努力が見られ、適切なサービス提供がなされている。
-----------	---

11. 評価結果への対応

利用者の満足度も高く、高い利用率水準を維持しており、良好なサービスの提供がなされている。管理経費の削減により、指定管理料の削減にもつながっている。
今後も高いサービス水準を維持しつつ、効率的な経営に向け、更なる指定管理料の見直しなど経費削減の工夫を継続していく必要がある。